

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	【留】日本語 I B(0583)	
科目基礎情報							
科目番号	3Z19			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース			対象学年	3		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	教員が準備する。						
担当教員	馬場 亜紀子						
到達目標							
日本語の基礎を正確に行えるようにする。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」がよくなる。		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」ができる。		小学校高学年～中学校の「読む、聞く、話す、書く」ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ディプロマポリシー DP6							
教育方法等							
概要	【開講学期】夏学期週4時間 言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」が、日本語で正確に、中学校程度のことができるようにする。						
授業の進め方・方法	言語の4要素「聞く、読む、話す、書く」について、「ニュース、国語問題、一週間の話をする、トピック展開」を繰り返し練習する。						
注意点	教員がプリントを用意する。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1 聞くことについては、1～2分程度のニュースを聞き取り、どんなニュースだったのかをまとめる。		聞き取ったニュースの内容を把握できる		
		2週	2 読むことについては、小学校5年～中学2年程度の国語の問題を解く。		小学5年から中学2年程度の国語の問題を理解できる		
		3週	3 話すことについては、経験の中から興味があることを選び、それを3分間以内で話す。		興味を持ったことについて、3分間で日本語で話すことができる		
		4週	4 書くことについては、トピックセンテンスを展開することをまなぶ。		トピックセンテンスを展開することを理解できる		
		5週	5 日本語能力試験 2 級の過去問題をやり、総合力のアップの度合いをチェックする。		自らの日本語能力のレベルを把握できる		
		6週	1～5の以上のことを基本とする。これらの技術は別々のものではなく、ニュースの話をするときに読んだ記事のことを引用するなど相互にほかの技術が必要としているので、組み合わせによりさまざまな問題を作る。		記事の引用を用いるなどして、ニュースをまとめることができる		
		7週	到達度試験				
		8週	答案返却とまとめ				
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	授業		試験			合計	
総合評価割合		50		50		100	
基礎的能力		50		50		100	
専門的能力		0		0		0	
分野横断的能力		0		0		0	